

# やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌 名	やぶなべ
号/発行年/頁	30 / 1987 / 20-22
タイトル	昭和61年9月のグダリ沼の調査(プラナリア)
著 者 名	山道香

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

# 昭和61年9月のグダリ沼の調査(プラナリア)

3年 山 道 香

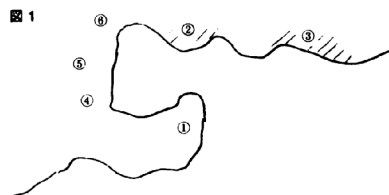
キャンプでの採集の整理が終わらぬうちにプラナリアの大半を崩壊させてしまふ、という不始末をおかしてしまい、9月初旬に再びグダリ沼の調査を行いました。

weather 曇り のち 晴れ

水温 8℃

P.H. 5.5

P.M. 2:00~4:00ごろ



## POINT 1

湧き水以外には、ほとんど水の流れがありません。中くらいの石や、少し大きな石がごろごろしていて、水草が一面に繁殖しています。深さは15~25cmくらいでわりと浅い所です。その中でも、あまり水草に覆われていない所に、50cm四方の枠を置き採集してみました。

### イズミオオウズムシ

2.3 cm	1	1.6 cm	1	1.5 cm	1	1.2 cm	1	0.9 cm	1
0.8 cm	2	0.6 cm	1	卵1ヶ	計8匹	平均1.1 cm			

### カズメウズムシ

1.3 cm	2	1.1 cm	1	0.9 cm	2	0.8 cm	1
計6匹		平均1.05 cm					

昨年にはこのあたりはカズメウズムシが多かったのですが、今回はイズミオオウズムシの方が多ようです。

## POINT 4

比較的日陰で水の流れはほとんどありません。石は、中くらいよりも少し大きめといった感じで、岸に沿って水草が生えていました。ところどころで湧き水がこぼこぼいっていました。再び50cmの枠を置いて採集してみました。

### イズミオオウズムシ

2.4 cm	1	1.4 cm	1	1.2 cm	2	1.1 cm	1	1.0 cm	3
0.6 cm	2	0.3 cm	1	計11匹	平均1.07 cm				

### カズメウズムシ

2.4 cm…… 1    1.8 cm…… 1    1.3 cm…… 1    計 3 匹    平均 1.83 cm

ここでも圧倒的にイズミオウズムシの方が多かったのです。ただ、POINT 1 にもいえることですが、少し小さいような気がします。カズメウズムシは 3 匹しかとれませんでした。そのわりには大きかったようです。

### POINT 5

ここも、水の流れはあまり感じられません。石は、中くらいの大きさで、ミズゴケのためかひじょうにぬるぬるして、気持ちが悪かったです。POINT 1, 4 に比べて水草はあまり生えていません。たまに糸ミミズ(?) のようなものを見かけました。少しどぶくさい臭いを感じられました。ここでのプラナリアは次のとおりです。

### ナミウズムシ

2.0 cm…… 1    1.5 cm…… 2    1.1 cm…… 1    1.0 cm…… 3    0.8 cm…… 1  
0.7 cm…… 1    計 9 匹    平均 1.178 cm

### イズミオウズムシ

1.2 cm…… 1    0.8 cm…… 1    0.4 cm…… 2    計 4 匹    平均 0.7 cm

ついにナミウズムシを見つけました。でも、どうしてPOINT 1, 4 にはみられなかったのでしょうか。ナミウズムシは、生命力に関しては、他よりも強いようですが、それなりのお気に入りの環境があるのでしょうか。あとでわかったことですが、このプラナリアさん、目が 3 ~ 4 つありました。

### POINT 6

多少の流れが感じられます。わりと日もあたっています。石は小さめで、採集には少し手間がかかりました。あぶの卵や気持ちの悪いぬるぬるしたかたまりがみられました。50 cm の枠ということもあってのことか、採集の要領が悪かったのか、何ともいえませんでした。

### POINT 2, 3

水の流れは速く、深さも少しあります。少しですが、水草が生えていて、他の生物や、その卵などがたくさんみられました。石がやたら小さいし、流れもあるので採集はとても難しかったです。

## POINT 2のプラナリア

キタシロカズメウズムシ 0.9 cm…… 1      カズメウズムシ 0.8 cm…… 1

## POINT 3のプラナリア

キタシロカズメウズムシ

0.9 cm…… 1    0.7 cm…… 1    0.4 cm…… 2    計 4 匹    平均 0.6 cm

カズメウズムシ 1.3 cm…… 1

こんなところにも、プラナリアがいるんですか？という思いで石をひっかきまわしました。石にくっついているプラナリア……というわけにはいかなくて、石の間にひょろっとしてみえるのをふでの先ですくってしまう、というかんじでした。案外、もっといろいろな種類のプラナリアもいたのかもしれませんが色の関係からか、キタシロカズメウズムシばかりみつけました。小さいのばかりだし、流されて移動したのでしょうか？それともキタシロカズメウズムシは流れのある所が好きなのでしょうか。

### 《反省・考察》

“うるしかぶれ”などというとんでもないものにとりつかれてキャンプには参加できず、おまけに先輩の採集してきてくださったプラナリアを“水の泡”にしてしまった、私の、初めての、そして必死のグダリ沼の調査でした。水は冷たくて、たった一人での採集だったため、苦勞したわりに、満足できる調査だったとは思えませんが、とにかくひとまず終えることができました。

野内川など、下流・中流ではナミウズムシがよくみられたのに比べて、ここではイズミオオウズムシが主になっているようです。採集にかたよりがあったのかもしれませんが、水温や、水流の関係からなのか、少し調べてみたいと思います。

\*余談ですが、プラナリアは糸ミミズも食べると聞きましたが、グダリ沼採集のとき、たくさんの糸ミミズを見かけました。なかなか、細くて、愛らしかったです。



田代平の調査点  
グダリ沼